

21-76

2021年12月23日

～安心で、持続可能な社会の実現を目指して～

東京メトロ本社ビル・総合研修訓練センターで使用する 電力のCO₂排出量を実質ゼロにします

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）は、2022年1月1日（土）から2022年12月31日（土）まで、東京メトロ本社ビル及び総合研修訓練センターで使用する電力のCO₂排出量を実質ゼロにします。

東京メトロは2021年3月より、長期環境目標「メトロCO₂ゼロ チャレンジ 2050」を設定し、東京メトログループ全事業が排出するCO₂量「2030年度-30%（2013年度比）、2050年度実質ゼロ」を目指しています。

その取組みのひとつとして、東京メトロ本社ビル及び総合研修訓練センターで使用する電力について、東京電力エナジーパートナー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：秋本 展秀）の電力メニューを用いて、実質的にCO₂排出量がゼロとなる再生可能エネルギー（以下「再エネ」）由来の電力に置き換えます。これにより、年間約1,811tのCO₂排出量を削減できる見込みです。

今後も東京メトログループでは、役員・社員が一丸となりCO₂の削減に積極的に取組み、「安心で、持続可能な社会」の実現を目指してまいります。

詳細は別紙のとおりです。



東京メトロ本社ビル



総合研修訓練センター

導入の概要について

1. 対象建物

	東京メトロ本社ビル	総合研修訓練センター
所在地	東京都台東区東上野三丁目19番6号	東京都江東区新木場四丁目4番15号
規模	敷地面積 約 2,110 m ² 延床面積 約 19,400 m ² 地下3階、地上14階	敷地面積 約 27,000 m ² 延床面積 約 19,000 m ² 訓練線（総延長約 700m、模擬駅3駅）、研修棟（地上5階建て）
竣工	1987年	2015年

2. 導入期間

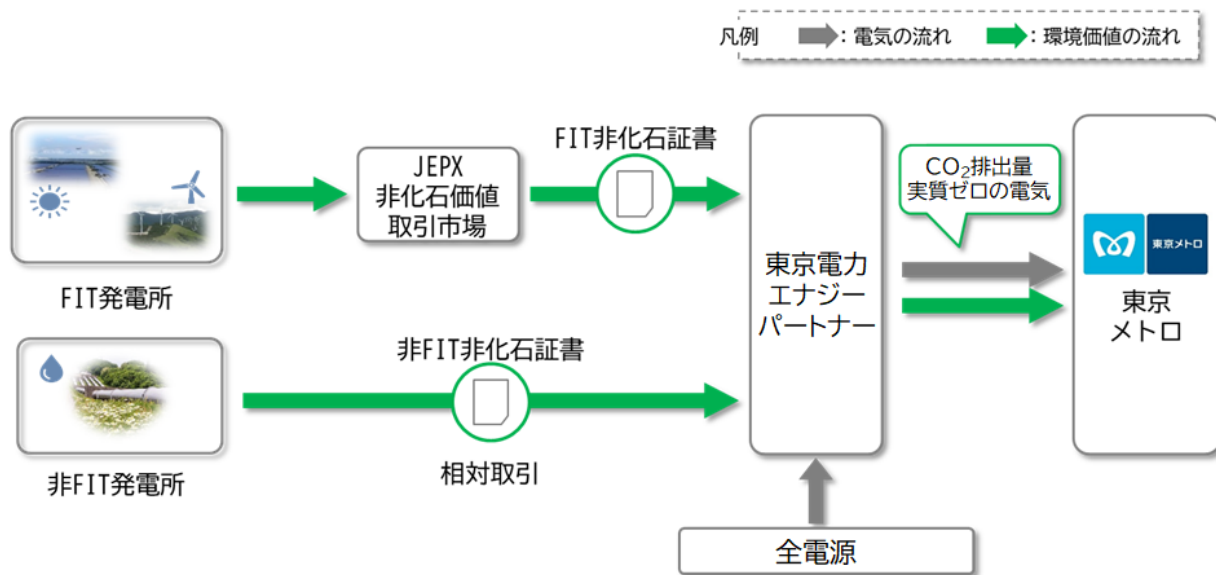
2022年1月1日から2022年12月31日（2023年以降も導入を検討中）

3. CO₂排出削減量

	東京メトロ本社ビル	総合研修訓練センター	合計
想定使用電力量	2,479,038 kWh	1,697,820 kWh	4,176,858 kWh
想定CO ₂ 削減量	1,075 t-CO ₂	736 t-CO ₂	1,811 t-CO ₂

4. 電力供給の流れについて

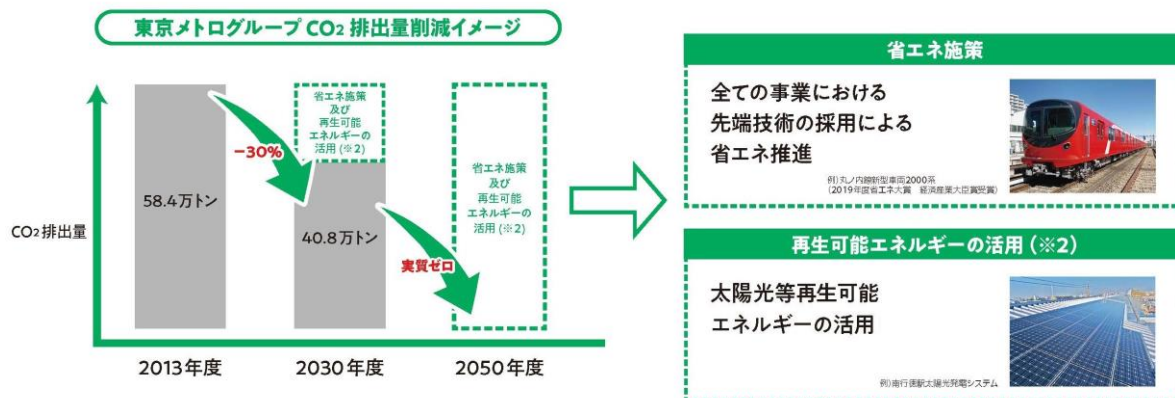
再エネ指定ありの非化石証書（※）を活用した東京電力エナジーパートナー株式会社の電力メニューを用いて、実質的にCO₂排出量をゼロといたします。



※太陽光、風力、水力など由来の電気から環境価値を分離し、証書の形にして取引をしたもの

（参考）長期環境目標「メトロCO₂ゼロ チャレンジ 2050」

東京メトログループ全ての事業における先端技術の採用や改善活動等の創意工夫により、再生可能エネルギーの活用や更なる事業の省エネ化を通じ、東京メトログループ全事業が排出するCO₂量について「2030年度-30%（2013年度比）、2050年度実質ゼロ」を目指します。



東京メトログループのSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について

東京メトログループは、サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の特定に合わせて、SDGs に掲げられている 17 の目標、169 のターゲットとの関連性を整理しました。引き続きマテリアリティに係る各種施策を通じて SDGs の達成に貢献していきます。

なお、本リリースの取組みは、主に SDGs における目標 7 番「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」及び 13 番「気候変動に具体的な対策を」に貢献するものと考えています。

東京メトログループのサステナビリティ重要課題とテーマ

<https://www.tokyometro.jp/corporate/csr/materiality.html>

